

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

平戸市立田平東小学校
学校便り

東の風



やさしく
かしこく
たくましく

No. 7

平成29年4月20日(木)

文責：園田

学校教育目標：心豊かに 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

平成29年度がスタートし、間もなく2週間。午前中までで下校していた1年生も、今週の月曜日からは通常の時間割通りの学校生活を送り始めました。全児童が新しい学年として徐々に慣れていっているようです。

今回は、今年度の本校の基本方針や教育目標、教育方針、スローガン等についてお知らせしたいと思います。詳しくは裏面に掲載しておりますので、ご覧ください。

《基本方針》 生き抜く力を育み、自立の基礎を培い、人格の完成を目指す。

この基本方針のもと、『心豊かで 自ら学び たくましく生きる子どもの育成』を学校教育目標とし、**やさしい子**・**かしこい子**・**たくましい子**の育成に努力してまいります。

《目指す児童像》

やさしい子

明るく思いやりのあるやさしい子

かしこい子

自ら考え、工夫する子ども

たくましい子

最後までやりぬくたくましい子



今年度も昨年度に引き続き、次のようなスローガンを掲げ、子ども達の確かな成長を目指していきます。

《教育方針》

本年度スローガン

自己実現 自主自立 ～本物の笑顔のために～

誰かに何とかしてもらえると考える子どもから、自分で何とかすると考え行動する子どもへ
(受動的・従属的な子ども) (主体的・能動的で自立した子ども)

そのために、子ども達の **自助力** を育て、身に付けさせる教育に取り組みます。

『本物の笑顔』とは？

「わかった」「できた」「頑張れた」「褒められた」「認められた」そんな時、子ども達は「笑顔」になれます。でも、「誰かを頼り、してもらって、できた笑顔」と、「自分自身の力で、できた笑顔」は違うと思うのです。「本物の笑顔」とは主体性を持って物事に取り組み、コツコツと努力を続け、積み重ねた結果としての笑顔！そんな体験や経験の結果としての成功体験やそれに基づく自信から自己肯定感・自己有用感・自尊感情を醸成し、自分を好きになり、そして笑顔になれる。そんな笑顔を『本物の笑顔』と考えています。

「笑顔」でいられるということは、自分自身や他者を「肯定的に捉えることが出来ている」ということ。更には、自分の笑顔で周りの誰か(他者)を笑顔にし、周りの誰か(他者)の笑顔でまた自分も笑顔になれる。「私の笑顔」を「友達や家族の笑顔」「みんなの笑顔」「地域の笑顔」へと広げる事ができたら素晴らしいです。

『自助力』とは？

『子ども達の本物の笑顔のために』が意味するところ、それは **将来的な子どもの自立**です。生き抜く力の基本は「自立」です。「自立」のためには、子ども達の『自助力』を育て、身に付けさせなければなりません。

『自助』とは「自分の力で自分の身を助けること。他人に依頼せず自分の力で自分の向上発展を遂げる事」です。身に付けた自助力のもと、自立し自分の力でやり遂げてこそ、本物の笑顔が輝くのです。

ですが、「自助力」は急には身に付きません。発達段階に応じて、日々の家庭生活や学校生活の中で、様々な事象に対峙し、経験していく中で、一つ一つ、身に付けさせていく必要があります。

子ども達の将来の思考や行動の習慣は、幼い頃からの考え方や判断の仕方の積み重ねで形成されていきます。だからこそ、小学生の時点においても、「自立」や「自助力」を意識して、望ましい思考や行動に関する「**良い習慣**」を身に付け、毎日の生活上の思考や行動に働きかける事が大切です。

東小ではそのための教育活動を進めていきます。ご家庭でも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。